

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成30年12月17日)

- 1 平成29年度決算（市町村分）に係る健全化判断比率・資金不足比率（確定値）について
【地域振興課】・・・ 1ページ
- 2 公共交通担い手確保セミナー開催結果について
【交通政策課】・・・ 別 冊
- 3 クライミング・フランス代表チームの合宿実施について
【スポーツ課】・・・ 8ページ

地 域 振 興 部



平成29年度決算（市町村分）に係る健全化判断比率・資金不足比率（確定値）について

平成30年12月17日
地域振興課

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」により、市町村において平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率が算定され、数値が確定しましたので報告します。

(1) 健全化判断比率

- 早期健全化基準以上となる団体 . . . なし
- 健全化判断比率の状況（対前年度比較）
早期健全化等の判断の目安となる健全化判断比率に係る県内市町村の状況は次のとおり。

①実質赤字比率	. . . 前年度と同様、全市町村で赤字なし
②連結実質赤字比率	. . . 前年度と同様、全市町村で赤字なし
③実質公債費比率	. . . 起債発行の抑制や繰上償還などによりおおむね減少傾向にあり、地方債発行に許可が必要な18%以上の団体も無い。
④将来負担比率	. . . 起債発行の抑制等に伴う起債残高の減少等によりおおむね減少傾向にあり、各団体とも健全な財政運営に努めている。 * 将来負担比率なし（＝起債残高等の将来負担額が、基金残高や後年度に措置される交付税より少ない）の団体 若桜町、三朝町、伯耆町、日南町、日野町

※健全化判断比率の内容、早期健全化基準・財政再生基準、市町村ごとの比率については、別紙「各市町村の健全化判断比率一覧（平成29年度決算）」を参照。

(2) 資金不足比率（公営企業に係る指標）

- 経営健全化基準以上となる団体 . . . なし
- 資金不足比率の状況 . . . 下表のとおり
(境港市の土地区画整理費特別会計のみ資金不足が発生)

市町村名	公営企業会計名	資金不足比率		
		平成29年度 決算	平成28年度 決算	資金不足比率の増減要因
境港市	土地区画整理費特別会計	6.6%	9.9%	土地の売却が進んでいないため

※「資金不足比率」：公営企業ごとの資金不足の比率（対事業の規模（営業収益））。
資金不足比率の経営健全化基準＝20%

【別紙】各市町村の健全化判断比率一覧（平成29年度決算）

各市町村のいずれの指標も早期健全化基準及び財政再生基準を下回っている。

（単位：％）

市町村名	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
鳥取市	- (*1) (-) (*2)	- (-)	11.2 (11.4)	68.7 (72.1)
米子市	- (-)	- (-)	11.9 (13.6)	117.2 (124.8)
倉吉市	- (-)	- (-)	13.2 (13.0)	113.8 (121.6)
境港市	- (-)	- (-)	13.4 (13.5)	137.2 (88.9)
岩美町	- (-)	- (-)	13.1 (13.4)	47.7 (52.0)
若桜町	- (-)	- (-)	6.3 (6.1)	- (-)
智頭町	- (-)	- (-)	10.5 (11.1)	93.7 (113.7)
八頭町	- (-)	- (-)	8.2 (7.8)	8.9 (12.1)
三朝町	- (-)	- (-)	9.4 (9.0)	- (-)
湯梨浜町	- (-)	- (-)	14.1 (14.5)	9.5 (9.2)
琴浦町	- (-)	- (-)	12.8 (12.0)	106.8 (112.1)
北栄町	- (-)	- (-)	13.0 (12.9)	96.2 (87.9)
日吉津村	- (-)	- (-)	9.6 (7.6)	16.0 (9.0)
大山町	- (-)	- (-)	9.7 (8.7)	9.7 (-)
南部町	- (-)	- (-)	12.8 (11.8)	17.1 (14.9)
伯耆町	- (-)	- (-)	8.0 (9.0)	- (-)
日南町	- (-)	- (-)	8.6 (9.0)	- (-)
日野町	- (-)	- (-)	11.6 (14.9)	- (-)
江府町	- (-)	- (-)	10.7 (10.0)	69.6 (65.1)
早期健全化基準(*4)	11.25~15 (*3)	16.25~20 (*3)	25	350
財政再生基準(*4)	20	30	35	

* 1. 各指標の下段（ ）書きは、平成28年度決算における数値。

* 2. 「-」は、当該比率が生じていない（赤字なし）ことを表している。

* 3. 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の早期健全化基準は市町村の財政規模に応じて設定される。

* 4. 健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれかが早期健全化基準以上である場合には「財政健全化計画」を、再生判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率）のいずれかが財政再生基準以上である場合には「財政再生計画」を、それぞれ当該比率を公表した年度の末日までに定める必要がある。

<参考>健全化判断比率及び資金不足比率の説明

○実質赤字比率

地方公共団体の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

○連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

○実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{(地方債の元利償還金 + 準元利償還金) - (特定財源 + 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}}{\text{標準財政規模 - (元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}} \times 100$$

(3か年平均)

○将来負担比率

地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - \text{(充当可能基金額 + 特定財源見込額)} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額}}{\text{標準財政規模} - \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}} \times 100$$

○資金不足比率

公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}} \times 100$$

※資金の不足額

$$\text{資金の不足額 (法適用企業)} = \text{(流動負債 + 建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高 - 流動資産)} - \text{解消可能資金不足額}$$

$$\text{資金の不足額 (法非適用企業)} = \text{(繰上充用額 + 支払繰延額・事業繰越額 + 建設改良費以外の経費の財源に充てるために起こした地方債現在高)} - \text{解消可能資金不足額}$$

※事業の規模

$$\text{事業の規模 (法適用企業)} = \text{営業収益の額} - \text{受託工事収益の額}$$

$$\text{事業の規模 (法非適用企業)} = \text{営業収益に相当する収入の額} - \text{受託工事収益に相当する収入の額}$$

$$\text{事業の規模 (宅地造成事業のみ行う企業)} = \text{資本の額} + \text{負債の額}$$

<参考>

平成29年度市町村普通会計の決算の概要

<概要>

- 歳入総額は、合併算定替の縮減等により地方交付税が減少したほか、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業の減等により国庫支出金が減少したものの、畜産競争力強化整備事業補助金の増等による県支出金の増加や、災害復旧や庁舎整備等に係る地方債の増加等により、5年連続で増加。
- 歳出総額は、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業等により扶助費が減少したほか、公債費が減少したものの、普通建設事業の増加や、鳥取県中部地震等に係る災害復旧事業費の増加等により、対前年度で増加。
- なお、鳥取県中部地震関連経費の歳出決算額は、被災者住宅再建支援金、災害復旧事業費、中小企業貸付金等計46億円。(平成28年度決算額と合わせると、計70億円。)

<歳入>

(単位：百万円、%)

区分	平成29年度		平成28年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
一般財源計 A+B+C+D+E	170,427	52.6	171,240	54.2	▲813	▲0.5
地方税 A	66,979	20.7	65,988	20.9	991	1.5
地方譲与税 B	2,130	0.7	2,137	0.7	▲7	▲0.3
地方特例交付金 C	242	0.1	222	0.1	20	9.0
地方交付税 D	89,312	27.5	91,873	29.1	▲2,561	▲2.8
地方消費税交付金等各種交付金 E	11,765	3.6	11,019	3.5	746	6.8
国庫支出金	39,305	12.1	40,349	12.8	▲1,044	▲2.6
県支出金	27,175	8.4	24,259	7.7	2,916	12.0
地方債	33,078	10.2	27,967	8.9	5,111	18.3
繰入金	7,821	2.4	6,939	2.2	882	12.7
その他	46,469	14.3	45,163	14.3	1,306	2.9
歳入合計	324,276	100.0	315,917	100.0	8,359	2.6

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

(注) 平成29年度中に八頭環境施設組合(構成団体：鳥取市、若桜町、智頭町、八頭町)が解散し、同組合の剰余金を整理したことに伴い、便宜上、同組合の歳入歳出決算額を構成団体の平成28、29年度決算に加算している。

○主な増減

- 【地方交付税】合併算定替の縮減、一部の地方債元利償還金の算入終了に伴う需要額の減等
- 【国庫支出金】年金生活者等支援臨時福祉給付金事業補助金、学校施設環境改善交付金の減等
- 【県支出金】畜産競争力強化整備事業補助金の増等
- 【地方債】庁舎整備に伴う旧合併特例債の増等
- 【その他】繰越金や基金創設のための繰入など諸収入の増等

<歳出>

(単位：百万円、%)

区分	平成29年度		平成28年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	129,902	41.2	130,995	42.7	▲1,093	▲0.8
うち人件費	40,746	12.9	40,517	13.2	229	0.6
うち扶助費	56,547	17.9	57,260	18.7	▲713	▲1.2
うち公債費	32,609	10.3	33,217	10.8	▲608	▲1.8
投資的経費	41,513	13.2	33,075	10.8	8,438	25.5
うち普通建設事業費	38,659	12.3	32,147	10.5	6,512	20.3
うち補助事業費	17,648	5.6	13,797	4.5	3,851	27.9
うち単独事業費	20,404	6.5	17,771	5.8	2,633	14.8
うち災害復旧事業費	2,854	0.9	928	0.3	1,926	207.5
その他の経費	143,909	45.6	142,604	46.5	1,305	0.9
うち物件費	37,932	12.0	38,291	12.5	▲359	▲0.9
うち補助費等	39,585	12.6	38,647	12.6	938	2.4
うち積立金	7,362	2.3	6,744	2.2	618	9.2
うち貸付金	21,242	6.7	21,426	7.0	▲184	▲0.9
うち繰出金	33,147	10.5	33,131	10.8	16	0.05
歳出合計	315,324	100.0	306,674	100.0	8,650	2.8

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

(注) 平成29年度中に八頭環境施設組合(構成団体：鳥取市、若桜町、智頭町、八頭町)が解散し、同組合の剰余金を整理したことに伴い、便宜上、同組合の歳入歳出決算額を構成団体の平成28、29年度決算に加算している。

○主な増減

- 【扶助費】年金生活者等支援臨時福祉給付金事業補助金の減等
- 【普通建設事業費】鳥取市の市庁舎整備事業、米子市のクリーンセンター長寿命化事業の増等
- 【災害復旧事業費】鳥取県中部地震に係る公共施設災害復旧費の増等

平成29年度 市町村別普通会計決算の状況

(単位：百万円、%)

市町村名	歳入総額				歳出総額				実質収支				経常収支比率				地方債現在高			
	増減額		一般財源		増減額		普通建設事業費		増減額		増減額		増減率		増減額		増減率			
	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減		
鳥取市	102,870	5,984	51,223	△ 27	100,737	5,261	41,371	△ 34	13,597	4,400	2,016	765	86.6	△ 1.3	101,278	4,500	13,478	△ 1,966		
米子市	65,078	1,461	31,787	359	63,840	1,604	29,428	△ 320	5,996	1,904	1,147	48	90.7	△ 0.4	63,789	△ 1,067	7,101	494		
倉吉市	30,200	582	14,370	△ 9	29,430	938	12,065	△ 132	2,344	△ 508	713	△ 20	95.2	△ 0.2	31,109	△ 177	5,551	428		
境港市	17,099	669	8,255	△ 18	16,919	722	7,236	62	1,979	337	101	△ 76	93.3	△ 0.2	12,402	△ 101	4,120	41		
若美町	7,475	689	4,229	3	7,362	699	2,799	55	1,309	619	87	0	87.9	△ 2.0	7,038	327	2,595	△ 250		
若桜町	3,693	△ 8	2,221	△ 49	3,446	△ 14	1,173	10	669	63	219	55	84.9	0.9	3,346	158	1,931	△ 26		
智頭町	5,922	△ 983	3,777	△ 70	5,708	△ 896	1,992	4	756	△ 880	199	△ 83	98.0	4.6	7,557	176	2,687	39		
八頭町	10,647	△ 1,004	6,996	△ 211	10,006	△ 1,005	4,346	61	1,017	△ 777	587	△ 29	85.7	0.4	11,951	△ 350	6,578	346		
三朝町	4,853	△ 103	3,021	△ 41	4,765	5	1,883	61	416	△ 205	73	△ 12	88.9	3.6	5,073	△ 118	2,697	169		
湯梨浜町	10,848	△ 158	6,177	△ 91	10,408	△ 209	4,586	△ 130	2,094	160	285	△ 53	92.3	△ 2.0	12,264	198	6,169	△ 66		
琴浦町	11,763	257	6,514	△ 4	11,366	315	4,548	△ 58	1,709	522	326	124	89.0	△ 2.7	14,235	△ 337	3,842	△ 161		
北栄町	10,113	121	5,559	△ 4	9,632	298	3,779	△ 58	1,003	12	436	171	89.7	△ 2.6	7,518	△ 401	3,004	25		
日吉津村	2,616	446	1,410	16	2,489	347	1,031	69	540	333	126	113	84.1	△ 5.4	2,464	346	783	△ 96		
大山町	11,866	△ 25	7,049	△ 133	11,252	157	3,931	△ 210	1,777	333	549	39	91.0	△ 0.8	10,767	△ 50	5,912	241		
南部町	7,140	277	4,637	△ 32	6,958	265	2,842	△ 12	893	125	166	13	92.1	1.6	6,437	△ 275	3,634	△ 387		
伯耆町	7,449	△ 424	5,017	△ 145	7,233	△ 461	2,978	△ 211	770	△ 289	199	35	90.5	0.6	5,551	△ 229	3,910	3		
日南町	7,098	401	3,650	△ 164	6,663	378	1,670	△ 54	1,020	20	266	△ 42	89.7	0.4	6,052	22	5,100	790		
日野町	3,838	209	2,322	△ 104	3,566	176	1,052	△ 69	634	364	259	33	83.7	△ 2.7	2,525	380	2,111	163		
江府町	3,709	△ 32	2,211	△ 92	3,545	59	1,192	△ 2	137	△ 21	151	△ 85	88.7	2.9	3,893	△ 38	1,453	185		
合計 (平均)	324,276	8,958	170,427	△ 813	315,324	8,650	129,902	△ 1,093	38,659	6,512	7,926	997	89.6	△ 0.3	315,249	2,965	82,658	△ 28		

※端数処理により、計之内訳が一致しない場合がある。
※一般財源とは、地方税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税等をいう。

平成 29 年度市町村地方公営企業の決算の概要

○平成 29 年度市町村地方公営企業の決算について、収益的収支における総収益は 540 億 44 百万円（対前年度+4 億 13 百万円）、総費用は 449 億 65 百万円（対前年度+2 億 92 百万円）と、いずれも前年度並みであった。

【収益的収支の増減（主なもの）】

<下水道事業>

・平成 30 年度から公営企業会計を適用する事業（米子市、江府町）において打切決算を行った影響等により黒字幅が拡大。

<病院事業>

・患者数の減等により医業収益が減少し、赤字幅が拡大。

<水道事業>

・収支は黒字を保っているものの、簡易水道の統合に伴う維持管理費、減価償却費の増等により黒字幅が縮小。

○資本的収支は、水道事業における建設改良費の減等により収入、支出とも前年度と比べて減少しており、資本的収入は 186 億 7 百万円（対前年度△18 億 8 百万円）、資本的支出は 343 億 79 百万円（対前年度△11 億 50 百万円）となった。

○総収支は、下水道事業における上記打切決算を行った影響等により黒字幅が拡大し、13 億 90 百万円（対前年度+8 億 9 百万円）となった。

（単位：百万円）

区分	収益的収支								
	総収益			総費用			収支差引		
	29 年度	28 年度	増減	29 年度	28 年度	増減	29 年度	28 年度	増減
水道	11,340	10,837	503	10,403	9,648	755	937	1,189	△252
工業用水道	24	23	1	24	23	1	0	0	0
病院	16,690	16,956	△266	17,278	17,206	72	△588	△250	△338
電気	694	617	77	433	231	202	261	386	△125
下水道	24,085	23,785	300	16,064	16,614	△550	8,021	7,171	850
市場	97	108	△11	45	41	4	52	67	△15
観光施設	610	886	△276	585	796	△211	25	90	△65
宅地造成	300	176	124	23	3	20	277	173	104
駐車場整備	85	112	△27	71	60	11	14	52	△38
介護サービス	119	131	△12	38	50	△12	81	81	0
合計	54,044	53,631	413	44,964	44,672	292	9,080	8,959	121

(単位：百万円)

区分	資本的収支								
	資本的収入			資本的支出			収支差引		
	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減
水道	4,133	6,187	△2,054	8,602	10,054	△1,452	△4,469	△3,867	△602
工業用水道	0	0	0	0	3	△3	0	△3	3
病院	1,346	1,450	△104	3,153	2,362	791	△1,807	△912	△895
電気	0	0	0	228	176	52	△228	△176	△52
下水道	11,817	12,251	△434	21,196	21,863	△667	△9,379	△9,612	233
市場	4	4	0	47	52	△5	△43	△48	5
観光施設	333	295	38	357	412	△55	△24	△117	93
宅地造成	878	46	832	645	296	349	233	△250	483
駐車場整備	21	4	17	7	62	△55	14	△58	72
介護サービス	74	177	△103	144	249	△105	△70	△72	2
合計	18,606	20,414	△1,808	34,379	35,529	△1,150	△15,773	△15,115	△658

(単位：百万円)

区分	総収支 (純損益(法適)+実質収支(非適))		
	29年度	28年度	増減
水道	763	1,043	△280
工業用水道	0	0	0
病院	△587	△251	△336
電気	55	59	△4
下水道	2,225	893	1,332
市場	14	6	8
観光施設	△55	19	△74
宅地造成	△334	△469	135
駐車場整備	△691	△719	28
介護サービス	0	0	0
合計	1,390	581	809

スポーツクライミングフランス代表チームの合宿実施について

平成30年12月17日
スポーツ課

スポーツクライミングのフランス代表チームが、12月9日(日)から12日(水)の間来県し、倉吉体育文化会館で合宿を実施しました。本県は、ヨーロッパのスポーツクライミング強豪国を対象に、東京オリンピック出場権の懸かる国際大会「クライミング世界選手権2019」の事前キャンプ誘致活動を進めており、今回はフランス側から合宿施設、環境の視察を兼ねた合宿実施の申し出があったため受け入れたものです。

(参考) クライミング世界選手権2019について

- ・開催予定時期：2019年8月(調整中) ・会場：東京都(調整中)
- ・出場選手数：(見込)500~600名 ・実施種目：リード、ボルダリング、スピード、コンバインド(複合)
- ・その他：コンバインドの男女上位6名程度が東京五輪の出場権を獲得できる。日本の出場枠は男女各2名。

1) フランス代表チーム来県者(5名)

シルヴァン・シャペル クライミングフランス代表チーム ヘッドコーチ

ダニエル デュ・ラック 同 コーチ

ファニー ジベール選手(女・25歳) 2018ボルダリング女子世界ランキング4位

レオ アヴゥズー選手(男・19歳) 2018ジュニアボルダリング男子世界ランキング4位

サム アヴゥズー選手(男・17歳) 2018ユースAボルダリング男子世界ランキング4位

2) 滞在スケジュール

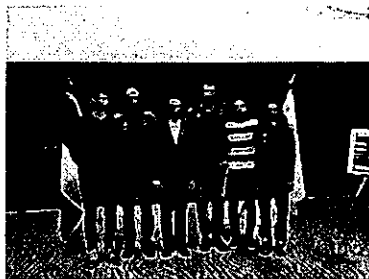
日付	スケジュール
12月9日(日)	午後 鳥取空港到着、知事表敬訪問
12月10日(月)	終日 倉吉体育文化会館にて合宿
12月11日(火)	終日 倉吉体育文化会館にて合宿 夕方 倉吉スポーツセンター視察(宿泊先候補施設) 地元関係者との歓迎夕食会
12月12日(水)	午前 鳥取空港発

3) フランス代表チームの主なコメント

- ・スピード、リード、ボルダリングの3種の壁が揃っている場所で合宿を行いたいが、倉吉はそれを満たしている希少な場所。世界でも3種の壁が揃っている場所はそう多くない。
- ・今回の合宿実施にあたり、準備を整えてくれた鳥取の関係者に感謝している。また、地元の方々が提供してくれた多くの温かいおもてなしにいたく感動した。
- ・倉吉スポーツクライミングセンターの環境は大都市に比べて静かで、落ち着いた環境の中で練習ができて最高だ。また近くにスーパーマーケットがあり便利。

4) 合宿受入の総評

- ・クライミング競技施設はもちろん、施設周辺の静かな合宿環境、自然環境、利便性等も含め、非常に高い評価であった。
- ・地元の温かいおもてなし(地元有志によるかに汁、肉じゃが、おでん等の提供)を通じて、日本食、文化への理解を深めていただいた。
- ・来年のクライミング世界選手権事前合宿誘致の実現、スポーツクライミングを通じた交流推進に向けて非常に良い感触であり、事前合宿実施の正式決定に向けて引き続き取組を進めていく。



知事表敬訪問



かに汁等日本食を楽しむ様子



高田知堯選手も参加して練習